

with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

特集1 戸莉学院長就任インタビュー

建学の精神と誇りを堅持し
教育と環境の充実を図り
次世代の女子教育に取り組む

特集2 藤原副学長就任インタビュー

教育的魅力を高め
自ら考え、行動できる
自立した女性を育てられる大学へ

特集3

KMP21第2フェーズへ
高等学校「地塩館」、
大学「W3棟」を新たに建築

■クローズアップ

国際情報学部 佐藤奈穂 講師

幼稚園 白井安希 教諭

■トピック

第52回技能五輪全国大会で
卒業生の河本さんが金賞受賞!



建学の精神と誇りを堅持し 教育と環境の充実を図り 次世代の女子教育に取り組む

長年、名古屋市立大学で小児科の新生児学研究に携わっていらっしやった戸荊創氏がこのたび新しく学院長に就任されました。

小児科医としてのご自身の経験や学院の建学の精神を基に、次世代の女子教育に対する思いや、より豊かな教育環境作りについてお話を伺いました。

小児科医の経験を基に 全人的教育の実践へ

これまで40年以上にわたって名古屋市立大学を拠点に小児科の臨床と新生児学を研究してまいりました。新生児医療は、子どもの発達や発育がベースとなります。今でこそさまざまな病態の解明が進んでいますが、私が着手したころの新生児医療はまだわからないことが多く、まさに手探り状態で研究を行っていました。その中で、一つでも多くの新しい医療技術を開発して患者さんにフィードバックできるよう日夜研究に励んできました。

新生児や子どもに対する医療は限られた情報の中から適正な判断を行って治療方法を見いださなくてはならず、ときには困難を極めるため、小児科医はなり手が少ないのが

現状です。また病院長や学長職を務め、医療環境や大学環境の改善、さらに後進の育成にも取り組んでまいりました。こうした経験を踏まえ、今回縁あって金城学院長に推挙されましたことは大変光栄なことであると同時に、新たな重責を感じております。

金城学院の歴史は今年で126年を迎えますが、建学の精神を礎に、キリスト教に基づく女子教育を堅持していることは誇りであると思えます。私がこれまで行ってきた医学研究は子どもが中心でしたが、小児科医としての立場からも金城学院のように全人的な教育を行っていく重要性を実感してまいりました。

子どもは学校や社会だけではなく、赤ちゃんのときから家庭で教育をはじめめる必要があると考えています。世の中では今、若年層の犯罪が頻発していますが、こうした事件を見聞きするたびにあらためて家庭教育の大切さを思い知らされます。子どもにとって最初の教育者は母親です。子どもは母親の動作だけではなく母親が心で思っていることも敏感に感じとり、真似をしながら成長していきます。家庭でのしっかりした心の教育を

受けた子は、心身ともに健やかな子へと成長します。

将来、母親となる可能性の高い次世代の女性にとって金城学院の建学の精神は大変重要であり、またこうした女性教育にかかわれることはとても光栄なことだと感じています。

人生に影響を与える

幼稚園・中学・高校・大学の教育環境

金城学院幼稚園時代、そして中学校・高等学校・大学の一貫した女子教育の中でも、どのような環境で学び、過ごすかによってその後の人格形成や近い将来の生き方に深い影響を与えます。人間としての教育は、人生の初期からはじめねばなりません。

金城学院幼稚園での教育は家庭での教育とともに大変重要です。まもなく開設されます金城学院大学KIDSセンターとともに、より若い年代の教育に取り組んでまいります。また中学・高校時代は学び以外にも部活動や課外活動を通して、秀でた能力が芽生え、発揮される時期でもあります。こうした時期こそ、この金城学院のようにキリスト教教育の充実した環境の中に身を置くことは生徒たちにとって大切なことです。やがて大人になり、キリスト教から離れることとなっても、幼稚園・中学・高校の





■Profile

戸荊 創 学院長

2001年2月～2010年3月 名古屋市立大学 小児科教授
2007年4月～2010年3月 名古屋市立大学病院 病院長
2010年4月～2014年3月 名古屋市立大学 理事長・学長
2014年4月～現在 名古屋市立西部医療センター長
2015年4月 学校法人金城学院 学院長就任

時期にこうした環境で学ぶことはその後の人生に大きな影響を与えることでしょう。そのため我々教員・職員も影響を与える一人としての自覚を持ち、建学の精神に基づいた女子教育を行い、人間としての考え方を伝えていかななくてはならないと思います。

大学は中学・高校とは教育的な役割が異なります。学生にはぜひ「この大学でなければ得られない」というものをつかんでいただきたいと思っています。金城学院大学の卒業生はひと味違うと言われるようになってもらいたい、そのために我々教員・職員が一丸となって今、教育に取り組んでいます。

専門性を極め、プラス金城学院大学ならではの豊富な知識や豊かな人間性とDignity(品位と尊厳)を身に

つけてもらいたいと願っています。

時代とともに、学生・生徒たちの考え方や将来の生き方も変わっていきます。我々は常に時代の変遷に対応する新たな教育方法を模索していかななくてはならず、またそれを実際に実践しているのがこの金城学院のすばらしい特徴であるとも思っております。

多世代に渡り愛される 学院の伝統と誇りを次世代へ

金城学院は1889年にアニー・E・ランドルフ先生が開学されて以来、毎年発展を遂げ、本年金城学院の幼稚園・中学校・高等学校・大学・大学院に在籍する学生の総数は7,654名を数えます。今年126年

目を迎えますが、創立以来一貫して「福音主義キリスト教」に基づいた、全人教育、女性教育の実践を堅持してまいりました。中でも、エラ・ヒューストーン先生の教育方針は大変厳しく、絶えず生徒には「品位を持ちなさい(You must have dignity)」と指導されていましたが、本学院はこれも堅持していますし、今後も揺らぐことはありません。

さらにこの金城学院には一つの家庭やご親族から多世代にわたって通われたという方々が大勢いらっしゃいます。最近では4世代続いて金城学院というご家庭も出はじめました。このように多世代にわたり、金城学院愛を持っていただけることは大変名誉なことであり、まさに金城学院の矜持だと思えます。こうした誇りある伝統をこれからも守り続け、多くのすばらしい女性を世の中に送り出せるように、より一層充実した教育や環境作りに取り組んでまいりたいと思っております。

教育的魅力を高め 自ら考え、行動できる 自立した女性を育てられる大学へ

この春より大学の副学長に藤原雅憲教授が就任されました。

「大学の教育的魅力を高め、自立した女性を育てたい」という思いと

「言葉を自由に操り、よく考える人になってほしい」とおっしゃる藤原副学長に、

学生に期待することや大学の進む方向性についてお話を伺いました。



「教育研究上の目的」に沿った 質の高い教育力の保証へ

このたび副学長に就任するにあたりまして、これまでの金城学院大学の歩みを継承しつつ、本学の今後に対する思いをお話したいと思います。

現在、日本の18歳人口は減少の一途をたどり、18年後の18歳人口

は100万人を切るかもしれないといわれています。こうした状況において、大学に今後必要なのは、すべての学科において「教育的魅力」を高めていくことだと思います。本学においてはたとえば、国際情報学科にはKITやWLIなど、学生が人生観や世界観を問い直し、深めることができる魅力的なカリキュラムがあり

ます。また食環境栄養学科は管理栄養士国家試験合格率が100%（2014年度実績）という実力を持っています。こうした学科に限らず、すべての学科が高校生を惹きつけるような教育的魅力を高めていかなくてはならないと考えています。教員の方々には本学の学則にある「教育研究上の目的」に掲げられた

理想と日々の教育内容や教育方法を照らし合わせながら、理想の方向へ進められるように努力をしていたきたい。質の高い高校生が入学したくなるような、「質の高い教育力」を保証する大学にしていきたいと願っています。

学生から見た教育的魅力とは、学びのチャンスが多いことだと私は思います。学生の期待に十分応えられるような教育が行われていることが大切です。本学の教育的魅力は、女性が大学4年間で何を学び、行うべきかについてよく考えられたカリキュラムが多いことだと思います。大学とは、自分が社会に出たら何をしなければならぬのかという自覚を高める最後の砦です。大学でしっかりと学ぶことでこうした自覚を身につけておくことが大切です。本学の学びにはこうした力が養われるカリキュラムが豊富だと思います。

また本学のスローガンである「強く、優しく。」についても、その言葉を実際に具体化していくことが必要であり、学生の心にしっかりと刻まれるように、教員は常に努力していくことが重要だと考えています。

大学の施設をうまく活用し 自己の殻を破り、成長する

本学では、学生の学びきっかけや自覚へのきっかけを得る機会作りに全力で取り組んでいます。その一つとして昨年度、キャンパス内に新しくラーニングコモンズを作りました。ここでは学ぶ意思を持った学生が集い、お互いに知的な刺激を与え合うことができます。実際に足を運んでみると、学生たちは活発に議論や討論を行い、実に生き生きとしています。ところがここを利用する学生はいつも限定されているようです。また図書館でも、一人でも多くの学生が利用して本の楽しさを身につけられるようにとライブラリーサポーターズ・LiLianというサークルがさ



Profile

藤原 雅憲 副学長

専門分野 / 日本語教育 日本語学
研究課題 / 助詞不使用現象に関する語用論的分析 日本語教員養成の方法
所属学会 / 日本語教育学会 日本語学会 日本語用論学会

さまざまな企画を催して頑張っています。しかしこちらはまだまだ利用者は少ない。こうした施設を利用しないことは実にもったいないことです。決められた時間に来て決められた授業を受けて帰るのではなく、大学の施設をもっと貪欲に利用してもらいたい。毎日毎週自分の殻を破り続けていってほしい、それが立派な社会人になるための成長過程だと私は思います。

さらに学生には先生方をうまく利用してもらいたいとも思っています。先生に相談すれば今まで自分が気づかなかった視点が持て、さらに学ぶことができるでしょう。人生の先輩としてもっとぶつかってきてほしいと願っています。

言葉を自由に操り よく考えて行動する人へ

ほかにも学生に望むことは二つあります。一つは言葉を自由に操れる人になってほしいということです。聖書のヨハネによる福音書第1章1節に「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらず成ったものは何一つなかった。」とありますが、やはり言葉があってこそ現実が表現できるものです。自分の今の思いを言葉に託すと

き、うまくできないと誤解を生じることがあります。言葉を粗末にすると言葉に裏切られる。つまり相手に真意を伝えられず、誤解を与えて相手が去ってしまうこともあります。

私自身言葉の専門家として今の学生を見ていると、多くは言葉の躰がなされないまま、大学生になってしまっているように思います。読書の機会も少なく、このままでは社会に出ても、その場にふさわしい言葉遣いができないこともあるでしょう。ぜひ学生一人ひとりが自覚し、大学4年間のうちに言葉の上手な使い手になってもらいたいと願っています。

もう一つは何事もよく考える人になってもらいたいということです。デカルトの『方法序説』の中に、「自分が考えて真であると認めなければ真実として受け入れない。注意深く速断と偏見を避けること」という言葉があります。普段の生活の中では、気づかないうちに偏見や誤解に基づいた行動が多く起こっているものです。ぜひ自ら行動を起こすときには「これは真である」と判断して行動してもらいたいと思います。人を頼って行動すれば、失敗したときの責任をどうしても相手に押しつけてしまうことになるでしょう。自分で決めて動き、失敗も自分で引き受ける。それが真の強く、優しい女性であり、こうした女性を多く輩出できる大学でありたいと願っています。

金城学院大学 国際情報学部 国際情報学科

佐藤 奈穂 講師

学生時代の旅がきっかけで東南アジアに深く興味を持ち、現地に住みながら「本当の豊かさ」について考えてこられた佐藤先生。現在も日本とアジアのシングルマザーの比較研究を行いながら、この春より大学で国際情報学部の講師として教鞭を執られています。また3年生のゼミではカンボジアでのプロジェクトを実施予定、「世界を見て“想像力”と“創造力”を養ってほしい」と指導していらっしゃいます。



世界を知り、「想像力」と「創造力」を身につけ
自分で自分の道を歩める人に

佐藤奈穂講師／龍谷大学法学部卒業後、カンボジアのNGOで日本語教師として働く。その後、龍谷大学大学院経済学研究科修士課程に進学。2004年にカンボジアへ研究留学。帰国後、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士課程に進学。京都大学東南アジア研究所、研究員を経て今年度より現職。

学生時代の旅を通して カンボジアの研究へ

学生のころからアジア地域に興味があり、大学2年の夏休みに友人と片道の航空券だけを持ってインドへ行きました。現地では街を歩けば1分に一度物乞いに腕をつかまれるなど学生にとっては衝撃の連続の旅でした。まさに「世界は広い」と実感しました。そして次の春休みにはタイ、カンボジア、ベトナムを回ったのです。

当時のカンボジアはまだジャングルでゲリラ戦が続き、情勢は不安定でした。しかし人々の表情は非常に穏やかで、彼らの暮らしは活気に満ち溢れていました。「ここに一度住んでみたい」。そう思った私は4年生になると友人たちが就職活動に励むのを横目に通信教育で日本語教師の勉強をはじめました。当時は国際ボランティアやNGOに関する情報は非常に限られており、インターンの募集などありませんでした。4年生の夏休みに再びカンボジアに渡り、現地で「日本語教師として働きたい」とNGOを訪ねて歩きました。その後、日本語教師の資格を取得。そのときに出会った現地のNGOで孤児や貧困家庭の子どもたちに日本語を教えることになりました。

カンボジアで暮らすうちに経済発展が本当に彼らに豊かさをもたらすのか、この国がめざすべき道とはどこなのかと疑問を持つようになっていきました。「もっとこの国のことを知りたい」と、日本に帰国して今の研究に携わるようになったのです。

本当の豊かさを知るために

研究は主に日本と東南アジアにおけるシングルマザーの比較研究を行っています。カンボジアでは内戦の影響で全世帯の1/4が女性世帯主世帯、つまり母子家庭になりました。日本では母子家庭の貧困が深刻な社会問題になっています。しかし、カンボジアでは母子家庭とほかの一般家庭の貧困割合を比較するとほぼ同程度、むしろ母子家庭の方が低いくらいな

のです。なぜ彼女たちは貧困に陥らないのか。その農村社会の仕組みについて研究しています。

カンボジアでは女性が経済的に活躍できる場があり、また親族ネットワークが強く助け合いながら家計を支えています。子育ての責任が親に限定されず、子どももたくさんの人から愛情を受けて育つので母子家庭であっても寂しさや悲壮感を感じられません。「貧しい」と言われるカンボジアの農村社会の暮らしから、私たちは多くの示唆を得ることができます。私の研究は「本当の豊かさ」を追求する作業でもあるのです。

異なる社会では、日本で「価値がある」とされていることが無価値であったり、「不幸だ」とされていることが不幸ではなかったり、それまでの自分にとっての「当たり前」や幸福感が大きく変わることもあります。「豊かさ」を追求することは、自分自身の生き方をより豊かにする作業でもあるのです。

地に足をつけて歩く力を養い 自分の人生を拓いてほしい

学生たちには二つの「ソウゾウリョク」を身に付けて欲しいと思っています。一つは「想像力」です。文化や環境、宗教などが異なる社会や人々を理解するにはまず「想像力」が重要です。それは自分ではない誰かに対する理解力とも言えます。グローバルな世界の中での相互理解の基礎になると同時に自分自身の価値観や生き方をも変



日本語教師時代の写真

える力にもつながるはず。現代社会に大量に溢れる情報を鵜呑みにせず、自分自身で考え判断しながら「想像力」を身に付けて行って欲しいです。

そしてもう一つは「創造力」。ただ受け身でいるだけでなく、社会や世界に対して能動的にアクションを起こし、その楽しさを知って欲しい。考える「想像力」と行動する「創造力」があれば、若い学生たちはこれから何だってできるはず。

国際情報学部では1年次に全員参加の海外研修「KIT」が行なわれます。海外での経験は異文化を知る、ということだけでなく自分自身を変える大きなチャンスになるはず。また3年生の佐藤ゼミでは、貧困や国際協力についての基礎を身に付けると同時にカンボジアでの国際協力プロジェクトの立ちあげをはじめています。「カワイイ」をキーワードに女子大生ならではのプロジェクトを目指しています。

学生のみなさんには大量の情報に流されず、周囲に惑わされることなく地に足をつけて人生を歩んでほしいと思っています。「想像力」と「創造力」をもって誰かの役に立ちながら自分も豊かに生きる。自分で自分の道を歩める人になってほしいと願っています。



佐藤先生はどんな人!?

佐藤ゼミの3年生のみなさんに先生の印象を伺いました。すると「とても話しやすい先生」という声が多く上がり、「私たちとの距離が近く感じられる」「常に肯定する姿勢でいてくださるので意見をいいやすい」「初対面からとても親しみやすく感じた」との声も聞かれました。また「学生時代の話聞いて、その行動力がすばらしいと思いました。見習いたいと思います」との意見も飛び出し、先生の姿勢や行動力を尊敬する様子が窺えました。

金城学院幼稚園

白井 安希 教諭

子どものころから年下の子の世話をするのが好きだったことがきっかけとなり、保育士の道を選んだ白井先生。金城学院幼稚園の「縦割り保育」で育まれる子どもたちの優しさや思いやりの気持ちに日々感動を覚えながら指導をされています。また「自分で生きる力を持った子に育ててほしい」と願い、子どもの自主性と行動力を育む教育をしていらっしゃいます。



縦割り保育のすばらしい環境の中で
自ら考え、行動でききる子に育ててほしい

白井安希教諭／名古屋短期大学専攻科保育専攻卒業後、豊橋の公立保育園で約10年勤務。2007年に金城学院幼稚園へ。2015年より主任教諭として園全体の運営や指導にあたる。

園児の様子や卒園児との絆 縦割り保育のすばらしさを実感

小学生のころから年下の子の世話をするのが好きで、将来は学校の先生になりたいとずっと思っていました。高校生になって本格的に自分の将来を考えたとき、「人間形成の基礎となる幼児期の子どもたちに接する仕事をしたい」と考え、また「一生続けられる仕事をしたい」とも思い、保育士の道を選んだのです。はじめは豊橋市の公立保育園で働いていましたが、名古屋に引っ越すこととなり、2007年から縁あって金城学院幼稚園で子どもたちの保育にかかわることとなりました。

まず、金城学院幼稚園のキリスト教保育、縦割り保育、そして在園児・卒園生・保護者で作りに上げているすばらしい園庭に感動しました。この園の特徴である「縦割り保育」は、年上児と年下児がともに生活を送ることで、様々なことを学びます。たとえば、入園したばかりの年少児はまだ園のルールがわからず自由に過ごすことが多いのですが、そんな年少児に対し年長児は一生懸命お世話をしてくれます。はじめは上手にかかわれない年長児も、少しずつかわり方を覚え、手をかけすぎずさりげなく手助けをしてくれるようになります。また、年下児は年上児に対しあこがれの気持ちを抱き、あらゆる面で刺激を受け成長していきます。年上児は年下児とかわる中で、思いやりの気持ちが芽生えたり、我慢したり葛藤しながら心の成長が見られます。このような子どもたちの姿を見てると改めて縦割り保育のよさを



感じ、子どもたちの成長ぶりにも毎日驚かされています。日々の遊びも、年上児から年下児へと受け継がれ、金城学院幼稚園のさまざまなことが継承されているところもこの幼稚園ならではだと思います。

また、卒園してからも園を忘れずいろいろな形でつながってくれることは、大変喜ばしいことです。一例として園では年に四回、在園児や卒園生と保護者が一緒になって園庭整備「園庭ワーク」を行うのですが、実に多くの卒園生が顔を見せてくれます。ときにはおくどや、はそりを使って豚汁やおやつを作ることがありますが、そのときもうちわや自分で作った火吹き竹を持参して参加してくれるなど、頼もしく成長した卒園生の姿に感動を覚えます。元気な卒園生たちの笑顔を見られることはとても嬉しいことであり、改めて金城学院幼稚園の絆の強さを実感しています。

心と身体を動かしながら生活する中で 子どもの自主性と行動力を養う

子どもたちとのかわりの中で私がいつも心がけていることは、「心と身体を動かしながら生活する」ということです。楽しいときは子どもたちと一緒に心から楽しみ、ほめるときは思いきりほめて、注意をするときはどうしていけないのかきちんと伝える。信頼関係は生活をともにしながら子どもたちと共感したり、一緒に考えたり悩んだり、まっすぐ子どもたちと向き合うことで、築いていけるものだと思います。そのために私は常に子どもの目線に立って、何がよくて何がいけないのかをきちんとわかってもらえるように、子どもたちの声を聞

き、気持ちを考えながら接することを大切にしています。

また自ら遊びを選び取り組むこと、食事の席を友だちとの約束や、やり取りで決めることなど子どもたちは自分で様々なことを決めて行動しています。こうした環境は子どもたちの自主性と行動力を養います。このような園の環境を大切にしながら今後も保育者として歩んでいきたいと考えています。

自分で生きていく力をつけて 好きなことを見つけられる子に

ここを巣立っていく子どもたちにはぜひ園で身につけた「自分で生きていく力」を発揮して頑張っていってほしいと思っています。またこれから体験するいろいろな学びや友達、先生との出会いの中で自分の好きなことを見つけそれを極めていってもらいたいと思います。そのためには多くの人とかわりながら、広い視野を持つことが必要です。自分が興味を持ったことに積極的に取り組みながら、さらに大きく成長していってくれることを願っています。また私自身も、子どもたちと純粋に向き合い、子どもや保護者の方々から信頼される教員になれるようにより一層頑張りたいと思います。



園児と仲良く鉢植えをする白井先生

白井先生はどんな人!?

白井先生をよく知る保護者の方々に、白井先生の印象を伺いました。すると「明るくでおおらか」「とても楽しく、子どもと一緒に感情で接してくれる」と明るい人柄で人気があることがわかりました。また「子どものことを優先してくれるので相談しやすく、何でも受け止めてくれる」「子育ての先輩としてアドバイスしてくれる」との声から、先生が保護者の方々からとても親しまれ、頼りにされている様子が窺えました。

アクティブラーニング科目「学生プロジェクト」で 英語英米文化学科学生チームの旅企画が商品化

大学の共通教育科目、アクティブラーニング科目「学生プロジェクト」は学生が自らやりたいことを考え、実際に企業の協力や指導を仰ぎ実践的な学びを行いながら社会に通用する知識を養成するカリキュラムです。この学生プロジェクトでJAL/JTBとの産学連携プログラムを実施。2014年度は文学部英語英米文化学科4年生の旅行企画が商品化され、3月に発売されました。

プロジェクトを計画したのは英語英米文化学科の楚輪松人先生と上原尚子先生。上原先生がエアラインプログラムの授業で以前からJALの協力を得ていたこともあり、「学生目線の企画をぜひ立ててほしい」との要請があって今回のプロジェクトが実現しました。学生は三人以上のチームを組んで企画を立案。JALやJTBの担当者からの指導も



「最終プレゼン」の様子

受け、中間発表を一回、最終プレゼンを一回行います。最終的に残ったのは6チーム、その中から湯浅美月さん、山本智奈美さん、中嶋彩乃さん、船戸友美子さんのチームの企画「沖縄の『美』をたどる美人旅」が選ばれたのです。

四人とも「食や観光をどう『美』と結びつけるか、というところが一番苦労しました」と口をそろえ、企画の打ち合わせは大変だったと話します。その反面「計画することが楽しかった」「初めて沖縄に行く人でも楽しめるように工夫するのが楽しかった」との声も上がりました。また実際に沖縄へ足を運び、自分たちで企画したルートをたどりながら写真も撮影。こうした学びの結果、「グループでいろいろな意見を交わし、自分とは違う考え方を知った」「目標に向かってみんなで努力して追求する大切さがわかった」「お客様のことを



考えて作ることは大学生にはなかなかできない貴重な体験だった」など、得られるものも大きかったようです。「この授業を通して実際に企業の方々とかかわり、企画の立て方やチームで動くことの重要性を身につけたと思います」と楚輪先生も話します。できあがった企画は、食や体験などが盛り込まれた、まさに「学生目線」の内容で、現在までに多数の人々からの申し込みがあるほど人気です。

今年は「大学生の旅行で行く旅」の「冬の北海道」がテーマ。それぞれのアイデアを出し合いながら、10月の商品化をめざして各チームで企画を進めています。

大学の教育・研究の質を保証 大学評価で適合認定を受ける

2002年に学校教育法改正が行われ、2004年度より日本の大学は文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を7年以内の周期で受けるという「認証評価制度」が義務づけられています。

本学では1994年に大学自己評価委員会を発足。自己点検や評価を毎年実施、その結果は金城学院大学自己点検・評価報告書「WINDOWS」として1999年、2002年、2004年及び2008年に発刊し、公表しています。これまでに、2003年及び2007年に大学評価を受け、各年とも大学基準に適合していると認定を受けました。

今回は2014年に公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、2015年3月に大学基準に適合していると認定されました。大学評価結果の中で、「学生のキャリア形成において進路選択を支援する体制が組織的、体系的に整備された点や、新たな『特別研究機関制度』の導入により若手教員の人材育成が行われている点」が特色として評価されました。認定期間は2015年4月から2022年3月までとなります。

この評価結果を今後の指針にすると同時に、さらなる改革、改善に結びつけていきたいと考えています。



★金城学院大学点検・評価報告書「WINDOWS」は、大学ホームページ「大学概要」自己点検・評価報告書からご覧いただけます。

Learning commons

[ラーニングcommons]

さらに活発な学習スペースへ ラーニングcommonsの魅力

学生が自由な発想で主体的に学ぶことができる空間として、昨年6月N1棟にオープンした「ラーニングcommons」。自由にテーブルをレイアウトできるグループワークエリアやインタラクティブプロジェクターを使ってさまざまな発表が行えるプレゼンテーションエリア、サークルやゼミなどで活用できるミーティングエリアがあり、学習の用途に応じ利用できる空間です。

「開設された当初は、ラウンジと勘違いをして普通におしゃべりをしたり、食事をしたりする学生もいました」とラーニングcommons係長の長坂知美さんは話します。「一人ひとりにこの空間の利用方法を話し、理解を得た成果もあり、現在は学びの空間としてしっかりと定着していると思います。また新入生にも、ここで勉強する先輩の姿を見ることで認知が広がったと思います」といいます。

特にグループ学習やゼミ発表の練習、授業の企画準備で使う学生が多いとのこと。ある学生グループが『イツメン(※いつものメンバー)といく台湾旅行』という旅の企画をこの場所で作り上げ、実際に旅行会社のツアーとして企画が通ったという例もあるように、自由な空間で活発な意見を交わしながら



パソコンやプロジェクターなどの貸し出しも行なっている

考えることは魅力的な企画へとつながるようです。また国家試験やTOEICの勉強をしている学生同士で情報交換をしあうこともあり、仲間との交流の輪が広がることも多々あります。長坂さんも「今後はもっとプレゼンテーションエリアを活用してほしいと思います。自分が経験したことや考えていること、学習の成果などをほかの学生に発表できる場として活用してもらいたいです」といいます。

ほかにも国際交流センターや言語センター、キャリア支援センター、図書館などと連携を図り、留学説明会や就活セミナーなど、さまざまなイベントを随時行っています。こうしたイベント開催の情報やグループワーク

エリア、プレゼンテーションエリア、ミーティングエリアの予約状況はホームページで確認ができます。自由な学びの空間を積極的に活用して、さらに充実した学生生活を送ることを期待します。



「ミーティングエリア」の様子

韓国語勉強法やTOEICスコアアップ対策など 学習意欲を高めるセミナーも開催

ラーニングcommonsでは昨年、「韓国語勉強法体験談」「TOEIC大学3年間で約400点アップの勉強法体験談」を各二回開催し、多くの学生が参加しました。

「韓国語勉強法体験談」では、夏休みに韓国で、3週間韓国語を学んできた学生による体験談が行われました。実際に使用したテキストも紹介しながら勉強法などを話し、体験談のあとには学生からの質問や相談にも対応。「授業で韓国語の基礎を学ぶことが大切」「生の韓国語を聞き、使うこと」などのアド

バイスにうなずく学生の姿も見られました。

また英語英米文化学科の4年生による「TOEIC大学3年間で約400点アップの勉強法体験談」では、日頃の勉強法と長期休暇の勉強法の違いや大学の図書館の活用法、おすすめのテキストなどが紹介されました。参加者からは「図書館やキャリアアップ講座など、学内で活用できるものを今後は積極的に活用したい」「勉強に対するモチベーションが上がった」などの声が多数聞かれ、大変好評でした。



「韓国語勉強法体験談」の様子

★ラーニングcommonsの特設ページ
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp/commons/pc/index.html>

中学校テニス部が全国選抜大会へ出場 日頃の成果を出して白熱の試合を展開

去る3月28日に香川県総合運動公園テニス場で「第3回全国選抜中学校テニス大会」が行われ、男女各32校の中学校が出場。金城学院中学校テニス部も厳しい予選を勝ち抜き、東海地区第3位に選出され、憧れの大舞台で力を発揮しました。

テニス部の部員たちは今回の大会の一回戦の相手が関東の強豪校、小平市立小平第二中学校と決まってからさらに猛練習。関東の中学校と練習試合を行ったり、また高校生の先輩方に練習をお願いしてスピードボールになれるようにしたりとさまざまな努力を積み重ね試合に挑みました。



試合当日は「積極的に攻めていく」ことを目標に、日頃の成果を出し切って全員が力いっぱいプレー。ダブルス2本、シングルス1本の3本勝負でしたがいずれの試合も熱戦を展開。選手はみな最後までボールに食らいつき、あきらめることなく攻めていきました。こうした選手たちの頑張りに応援も白熱。みんなが大きな声を出して選手たちを元気づけました。

チーム全員が練習の成果を十分に発揮でき、金城学院らしいテニス

と応援を含めた戦いで試合を展開。惜しくもあと1歩のところまで勝ちきることはできず1回戦敗退となりましたが、チーム全員が力を出し切った悔いのない試合でした。

結果は残念でしたが、素晴らしい経験ができ、「夏の全国大会で1回戦を突破する」という新たな目標を見つけることができた中学テニス部。今回の試合を通して、まだまだ改善なくてはならないさまざまな課題を発見。チームが一体となってこれらの課題を一つずつ克服し、さらに厳しい練習を自らに課して積み重ね、レベルアップしていきます。

2014年度卒業生の進路状況

金城学院大学へは191名が進学

外部受験では国公立大16名や早稲田大6名、

慶応義塾大6名、南山大45名など近年では最高の合格実績

今年度の金城学院大学への進学者数は、内部推薦者176名に一般推薦・受験での進学者15名を加えて計191名(卒業生全体の54%)で、内部推薦では全員の生徒が第1希望の学科に進学することができました。

外部受験コースでは、国公立大学合格者数が名古屋大1名・名古屋工業大4名・名古屋市立大2名・岐阜大3名など合計16名となり、ここ数年では最多の合格を得ることができました。

有名私立大学へも早稲田大6名をはじめ、慶

応義塾大6名、上智大1名、東京理科大3名・青山学院大7名・明治大6名・立教大11名・同志社大7名・立命館大7名・南山大45名・愛知医科大(医)2名・愛知学院大(歯)6名など、こちらも例年以上に多くの合格者を出すことができました。

また「協定校推薦制度」を利用し、関西大学大へは12名、同志社女子大へは2名の生徒が進学をしていきました。卒業生の今後のご活躍をお祈りしています。

国公立大	14
私立大	127
金城学院大	191
国公立短期大	0
私立短期大	0
専修・各種学校	2
就職	0
進学準備	16
海外留学	4
卒業生総数	354

(進学者実数)

言葉とアイデンティティについて弁論を展開 高校1年生の尾島さんが昨年度英語弁論大会で3位に

去る2014年12月12日に東京のよみうり大手町ホールで「高円宮杯第66回全日本中学校英語弁論大会中部日本地区代表決定予選」が行われ、現在高校1年生の尾島百合子さんが愛知県代表として出場。上位7校の一つに選ばれ、翌13日に全国から選抜された27校による決勝大会に出場し、見事3位に選ばれました。

弁論大会出場を決めたのは「小さいころから英語が好きで挑戦したいと思ったから」と尾島さんは話します。大会までは英語の先



生とともに本番さながらの状況でスピーチ練習を繰り返しました。

当日は「言語と個性」をテーマに5分間スピーチ。中学2年で行ったアメリカのサマースクールでロシア人の女の子に出会い、「自分はロシアのアイデンティティを失いたくないから、たとえ英語を話すときでもロシア語の発音を大切にしている」といわれたことよって、言葉とアイデンティティには深い関係があるのではないかと思い、テーマに選んだといいます。最後は「もし自分が総理大臣になったら、お互いのアイデンティティを尊重しつつ、日本人としての自分をきちんと表現できるような国にしていきたい」と締めくくり、すばらしい英語力と会話の表現力が高く評価されました。

決勝大会のあとには記念レセプションが行われ、高円宮妃やケネディ駐日米国大使が同席される中、尾島さんはあらためて入



賞者スピーチを行いました。「大会で同じ志を持つ人にたくさん出会うことができたい刺激になりました」と尾島さんは話します。今年も英語弁論大会に出場する予定の尾島さん。「できる限りベストを尽くしたい」とすでに練習を開始しました。今年もすばらしい成績をおさめられることを期待します。

——原文掲載

Identities in Languages Yuriko Ojima

"I would add English as an official language of Japan." That was my answer in regards to a question asked by my teacher, "What would you do if you became Prime Minister of Japan?" The first reason is that if we are able to speak English, we can communicate with foreigners with ease, and it will be useful for our businesses and education. Secondly, most of the latest information on the Internet is in English. If we are able to access and understand new information written in English, we can keep up with the other countries in the world.

However something changed my mind. Last summer, I went to America to study abroad, and during my time there I met a girl from Russia. One day, she asked me, "Do you want to speak English like American people?" "Yes," I replied very quickly without any hesitation. In my head, I was thinking to myself, "The English textbooks I am using at school are all written in American English," and "American English sounds so much cooler than Japanese English." However, the Russian girl's reply to me was, "I don't think I want to talk like Americans. I am Russian, even when I am speaking English. I want to keep my accent so that I can keep my identity as a Russian." To be honest, at first I couldn't understand her feelings on the matter. However, when I thought more about it, I realized that our accent is a part of our identities, and our mother tongue and identity are deeply intertwined. When I thought about the idea of making English one of the official languages in Japan again, a new idea came to my mind.

- 中略 -

Now in Japan, many companies are switching to English as the official corporate language, which has both pros and cons. For example it has the problem of communication between coworkers. "Do you agree with the idea of adding English to the official language in Japan?" If someone asked me this question a few months ago, I would have said, "Yes." But to tell you the truth, I don't know the answer honestly. But, it's up to our generation to decide how we face the continuation of English education, and how we use English in our society.

"What would you do, if you became Prime Minister of Japan?" "I want to make a country where we can learn how to express ourselves as Japanese, and to share our identities, and promote communication in our society." That's my new answer.

3・4・5歳の混合クラス編成で互いに育ち合う「縦割り保育」

金城学院幼稚園は「一人ひとりを大切に活かし、ともに生きる力を培う幼稚園をめざして」を礎として、1976年に縦割り保育を導入し、全スタッフで心を込めて保育しています。縦割り保育の魅力は個体差の大きい3・4・5歳の時期の子どもたちのそれぞれの発達に即した友達関係が築けること、年上児が年下児に対する心配や思いやる心が芽生えることなどです。また年中児は年少児と年長児の間で葛藤や我慢することを経験しながら他者への気付きや自己抑制を体得し、年下児は年上児へ尊

敬や憧れの気持ちが生まれ、遊びが伝承されることなどを通し、人間関係や社会生活を幅広く身につけます。こうして異年齢児が

かかわり合いながら遊びや生活をともにし、成長していくことを大切にしています。

子どもたちは縦割り保育の中で様々な経験を通し、成長していきます。遊びや生活をともにすることで自ら考え行動する力を養い、また遊びを通してリードしたりされたり、互いに影響し合いながら、楽しさ、充実感、達成感、自信などを身につけていき



ます。また、ときにはぶつかり合い、葛藤、挫折などの感情体験をすることで人間関係の基礎を培っていきます。

このように子どもたちが生き生きと目を輝かせて遊び、友だち、保育者との信頼関係を育くむ環境を大切に、お互いにかかわり合いながら健やかに子どもたちが育っていきける幸せな幼稚園をめざしています。

“あつまり”を通して仲間意識を身につけ、成長する

幼稚園では保育の中でいろいろな年代の子との自発的な遊び＝自主的活動とクラス毎で行う活動のほか、週二回ほど年齢別活動“あつまり”を組み入れています。同じ学年があつまることで、それぞれの年齢に即した課題に取り組むことができ、互いに刺激を受けあうことができます。ただし、その場合も一人ひとりの成長に寄り添いながら課題への取り組みを行います。

中でも年長児は幼稚園のリーダーとして、子どもたちで話し合いの場を持ち、園生活全般を作り上げリードしていています。

年長児は宇宙や星に興味をもつきっかけ作りや、公共の場でのマナーを守り身に付けることをねらいとし、毎年5月の後半に名古屋市科学館・プラネタリウムを見学する課外活動を計画しています。



名古屋市科学館での課外活動



年長児はあつまりの中で担当保育者から「年長児のみがプラネタリウムに行くことができる!」という話を聞き、その特別感にみんな心を躍らせます。そのあと、一緒に手をつないで行くペアを決め、自分で身支度が出来るようお知らせの手紙を読み当日に備えます。

当日の行動も、年長児らしさが見られます。電車に乗る時改札で駅員さんに大きな声で「よろしくお祈いします!!」と言って通り、電車の中ではほかのお客様の迷惑にならないようにと「しーっ」と小声でお話。事前にあつまりで話し合ったことをしっかり守ろうとする子どもたちの意識が感じられます。

科学館やプラネタリウムでは、多くの感動や興味、関心が子どもたちの心に刻まれます。それはおうちの方への報告で終わらず、幼稚園で年中少児に伝えたり、絵に描いて見せてくれたり、遊びに取り入れたりとお兄さんお姉さんらしい行動でその力



を発揮してくれまます。年下児たちはその楽しそうな絵や話にワクワクし、年上児になって自分たちが行けることを心待ちにしています。

今は7月のお泊りキャンプに向けて話し合いがはじまっています。私たちの園ではキャンプは年長児とともにゼロから作り上げていきます。そのためには多くの話し合いと準備が必要です。「キャンプってどんなことをするのか?」「寝るところどうする?ごはんは?お風呂どうしよう?」とみんなで賑やかに準備が進められます。同じ年の子があつまり共感体験を重ねる中で仲間意識が芽生え、キャンプが終わるころには友だちの絆がより結束。こうして子どもたちは日々、さまざまな体験をしながら大きく成長していきます。



より快適で機能的な環境へ 高等学校「地塩館」、 大学「W3棟」を新たに建築

KMP21プランの一環である高等学校の新「地塩館」、大学の「W3棟」が現在建築中です。地塩館の竣工は2015年12月末、W3棟は2016年2月末を予定。いずれも生徒や学生たちの交流を促し、機能性や快適性を備えた施設となり、より充実した学びの環境へと変わっていきます。

21世紀の学びを育む建物へ

新しい地塩館は、榮光館・世光館と調和し、アーチ窓や曲線を用いた外壁ラインに女性らしさが表現されています。その中で21世紀の社会で貢献する女性を育てる教育活動が行われます。また新たに設置されるメディアライブラリーは、情報機器や探究型の授業に適した学習ゾーンを備え21世紀の学びの場の中心となります。そこでは生徒たちが集い、多様な情報にアクセスし意見を交換して、創造力と思考力を深めます。さらに普通教室にもインターネット、プロジェクターやスクリーンを完備。これによって授業での効果的な情報の提示が可能となり、生徒たちの思考をうながして自ら考え発信する主体的な学習者へと導きます。半世紀にわたって地の塩となる人材を育ててきた地塩館の、新たな歩みがはじまります。



金城学院高等学校 新地塩館(※イメージ写真)

【マスタープランコンセプト】

- ・多様な交流を促す教育環境の整備
- ・安全安心で学習に集中できる教育環境
- ・機能的で使いやすく、維持管理のしやすい施設



金城学院大学 新W3棟(※イメージ写真)

【マスタープランコンセプト】

- ・多様な交流を促す空間の創出
- ・安全で使いやすく、質の高い教育・研究環境の設備
- ・自然と共生する環境配慮型キャンパスの整備

人や自然、未来とつながる 新しいキャンパスに

大学西側キャンパスに現在建設中のW3棟は、「人をつなげる」「自然とつながる」「未来とつながる」「心をつなげる」がコンセプト。食堂を中心とした共用部分を充実し、学生の交流が図れるようにしています。5階建ての校舎には、生活環境学部の実習室や研究室、薬学部の自習室等を設置し、さらに充実した学びの環境を整備します。周辺校舎等へバリアフリーで移動することができるとともに、西側センターコートと一体感を持たせたピロティを設置し、キャンパス全体がつながりのある空間へと変わります。

金城学院の2014年度の決算について、お知らせします。

学校法人では学校法人会計基準という法令で定められた会計処理によって計算書類を作成しますが、ここでは、消費収支計算書、貸借対照表、資金収支計算書の3表によって決算概要を説明します。

収支の概要

2014年度の収入は、2013年度に比べ、学生生徒等納付金で、1億1千2百万円減少し、補助金では1億6千5百万円増加しました。これらの結果、当年度帰属収入は109億4千9百万円になりました。

2014年度の支出は、2013年度

に比べ、教育研究経費で2億3千6百万円増加、管理経費で3億5百万円増加、資産処分差額で17億8千7百万円増加し、その他の増減を合わせると、消費支出の合計は23億7千4百万円増加し、当年度消費支出合計は118億3千4百万円になりました。

この結果、当年度帰属収支差額は8

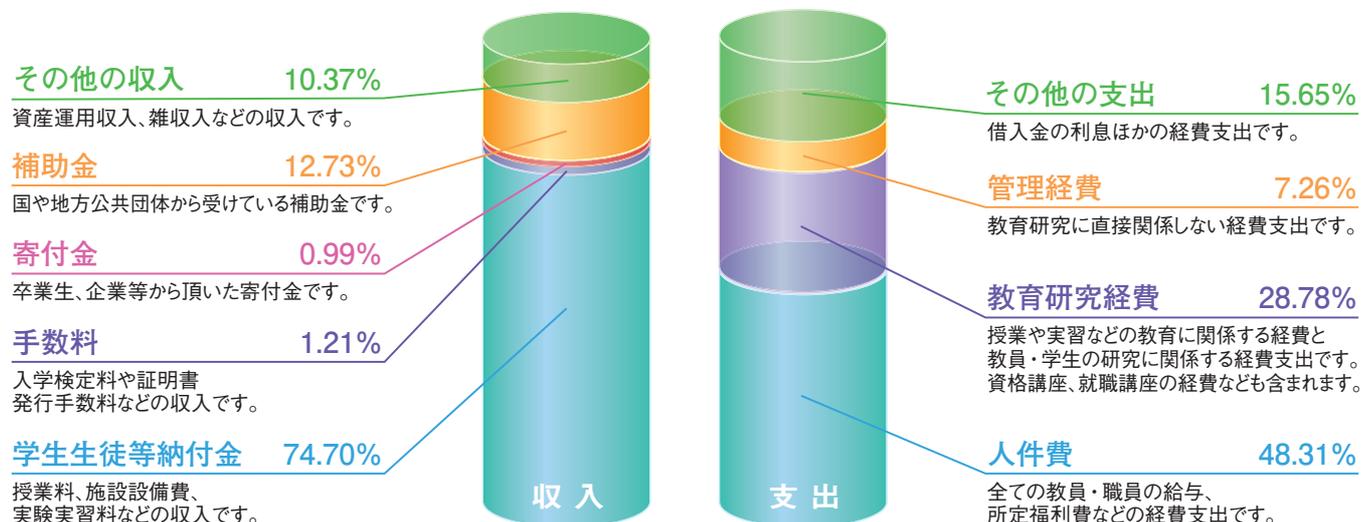
億8千6百万円の支出超過となりました。また、教育・研究のために取得した固定資産の金額は、基本金として組み入れることとなりますが、除却・取崩と合わせて2014年度の基本金組入額は4億2千8百万円になり、その結果、当年度消費支出超過額は13億1千4百万円となりました。

2014年度 消費収支計算書 (単位：千円)

収入の部	
学生生徒等納付金	8,179,039
手数料	132,944
寄付金	108,443
補助金	1,393,444
資産運用収入	94,077
資産売却差額	678,599
事業収入	64,351
雑収入	297,750
帰属収入合計	10,948,647
基本金組入額合計	△427,984
消費収入の部合計	10,520,663

支出の部	
人件費	5,717,372
教育研究経費	3,405,705
管理経費	859,643
借入金等利息	6,971
資産処分差額	1,844,697
消費支出の部合計	11,834,389
当年度消費支出超過額	1,313,726
前年度繰越消費支出超過額	4,051,548
翌年度繰越消費支出超過額	5,365,275

グラフで見る消費収支



資産と負債の概要

今期の有形固定資産は、2013年度に比べ、新校舎建設、構築物設置、教育研究用機器備品の購入及び新校舎建設に係る建設仮勘定増加等によって82億2千7百万円増加しましたが、建物の除却、新校舎建設に係る建設仮勘定減少、減価償却等によって71億1千2百万円減少し、期末の残高は324億3千4百万円になりました。

その他の固定資産は、2013年度に比べ、引当特定資産の取崩し等によ

り、6億8千7百万円減少し、期末の残高は125億3千4百万円となりました。

流動資産は、2013年度に比べ、4億1千1百万円増加し、期末の残高は78億6千1百万円になりました。

固定負債は、2013年度に比べ、長期借入金がかがキャンパス整備のための借入金22億円等により、18億4千6百万円増加し、その他の減少と合わせて、合計では18億4千2百万円の増加となりました。

流動負債は、2013年度に比べ、短期借入金か3億1千3百万円増加し、その他の減少と合わせて、合計で1億1千8百万円の減少となりました。

基本金は、2013年度に比べ、新校舎建築、構築物設置、教育研究用機器備品等の固定資産の取得、建物及び教育研究用機器備品の除却等により、第1号基本金が4億2千8百万円増加し、第4号基本金との合計で、期末の残高は466億6千9百万円になりました。

2014年度 貸借対照表(単位:千円)

資産の部			負債の部		
	本年度末	前年度末		本年度末	前年度末
有形固定資産	32,434,180	31,318,635	固定負債	9,712,773	7,870,378
その他の固定資産	12,534,063	13,221,556	流動負債	1,812,954	1,930,818
流動資産	7,861,256	7,450,520	基本金の部	46,669,047	46,241,063
資産の部合計	52,829,499	51,990,711	消費収支差額の部	△5,365,275	△4,051,548
			負債・基本金・収支差額合計	52,829,499	51,990,711

資金の動きの概要

学校法人会計基準では消費収支計算書のほかに、一年間の資金の流れを勘定科目毎に記した、資金収支計算書

を作成することを定めています。この計算書では資産や負債に係る収入や支出も記入することになっています。2014年度は教育研究のため

の経費として、22億2千4百万円の資金が使われ、教育研究の充実が図られました。

2014年度 資金収支計算書(単位:千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	8,179,039	人件費支出	5,721,260
手数料収入	132,944	教育研究経費支出	2,223,715
寄付金収入	92,851	管理経費支出	711,148
補助金収入	1,393,444	借入金等利息支出	6,971
資産運用収入	94,077	借入金等返済支出	40,523
資産売却収入	43	小計	8,703,618
事業収入	64,351	施設関係支出	3,888,600
雑収入	295,548	設備関係支出	365,389
借入金等収入	2,200,000	小計	4,253,989
前受金収入	1,181,100	資産運用支出	2,004,797
その他の収入	6,235,159	その他の支出	3,083,727
資金収入調整勘定	△1,575,823	資金支出調整勘定	△155,603
前年度繰越支払資金	6,972,351	次年度繰越支払資金	7,374,556
合計	25,265,084	合計	25,265,084

2016年度 金城学院 学生・生徒・園児募集

2016年度の学生・生徒・園児の募集につきましてご案内いたします。

入試に先立ち、オープンキャンパスや説明会なども開催いたしますので、ぜひご参加ください。
また大学・大学院で学び直したい方、新たな資格や学位の取得をお考えの方、お子様の進路など
お知り合いの方にもぜひご案内ください。

下記の内容は2015年7月現在の情報となっております。変更される場合もございますので必ず各入試の「募集要項」をご確認ください。

大学 2016年度入試

※詳しくは大学ホームページをご覧ください。

大学・大学院入試
TOPICS

◆「金城サポート奨学金」年間の学費が全学科一律50万円!

2年次以降も各学科での成績が上位40%以内であれば、継続して給付されるので安心です。返還の義務もありません。

給付対象 一般入試(前期)試験成績上位者100名、センター試験利用入試(前期)成績上位者50名!

◆ネット出願で、入学検定料の負担を軽減!

ネット出願
金城e割

インターネットで出願すると、簡単に手続きができ、入学検定料も軽減されます。

対象入試 一般入試(前・後)、センター試験利用入試、センタープラス方式入試

◆社会人の方へ 奨学金20万円給付!

社会人(大学)、社会人編入(大学)、社会人(大学院)の入学者全員に奨学金20万円を給付。

入試種別	出願期間	入試日	試験会場	合格発表日
一般公募制推薦入試	11月 2日(月)~11月 6日(金) 必着	11月14日(土)	金城学院大学 (地方試験会場あり)※2	11月27日(金)
一般入試(前期)[2科目型・3科目型]	1月 6日(水)~1月21日(木) 消印 1月22日(金)のみ 窓口受付 1月22日(金) ネット締切	1月30日(土)・ 2月1日(月)・2日(火) ※薬学部は1月30日(土)・ 2月2日(火)のみ実施	金城学院大学 (地方試験会場あり)※3	2月13日(土)
センター試験利用入試(前期)	1月 6日(水)~1月18日(月) 消印 1月18日(月)のみ 窓口・ネット締切	個別試験なし	—	2月13日(土)
センタープラス方式試験	1月 6日(水)~1月26日(火) 消印 1月27日(水)のみ 窓口・ネット締切 ※4	2月10日(水)	金城学院大学	2月18日(木)
一般入試(後期)	2月13日(土)~2月24日(水) 消印 2月25日(木)のみ 窓口・ネット締切	3月 3日(水) ※食環境栄養学科は 実施しません	金城学院大学	3月 8日(火)
センター試験利用入試(後期)	2月22日(月)~3月9日(水) 消印 3月10日(木)のみ 窓口・ネット締切	個別試験なし	—	3月18日(金)
一般編入学試験※出願受付終了しました。	6月17日(水)~6月24日(水) 必着	7月 4日(土)	金城学院大学	7月10日(金)
社会人・外国人・海外帰国子女入試 編入学試験(社会人②)	11月17日(火)~11月24日(火) 必着	12月 5日(土)	金城学院大学	12月11日(金)
薬学部一般編入学(4年次)	2月19日(金)~2月26日(金) 必着	3月10日(木)	金城学院大学	3月18日(金)

※1 窓口受付時間は9:00~17:00です。 ※2 一般公募制推薦入試(適性検査型)(小論文型)は地方試験会場を設けています。地方試験は豊橋・岐阜・四日市で実施します。

※3 一般入試(前期)1月30日(土)・2月2日(火)は地方試験会場を設けています。地方試験は浜松・岐阜・四日市・米原・金沢で実施します。

※4 センター試験を受験していることが出願条件となります。

大学院 2016年度入試

※詳しくは大学ホームページをご覧ください。

入試種別	出願期間	入試日	試験会場	合格発表日
在学生特別入試(前期課程①)※終了しました。	4月24日(金)~5月7日(木) 必着	5月16日(土)	金城学院大学	5月21日(木)
秋期試験 在学生特別(前期課程②・後期課程) 卒業生特別秋期	9月29日(火)~10月6日(火) 必着	10月17日(土)	金城学院大学	10月22日(木)
春期試験 卒業生特別春期	1月26日(火)~2月2日(火) 必着	2月13日(土)	金城学院大学	2月18日(木)

中学校 2016年度入試

※詳しくは中学校ホームページをご覧ください。

出願期間	入試日	試験会場	合格発表日	学校説明会	入試説明会
1月6日(水) ~1月14日(木) 必着	1月23日(土)	中学校試験場 高等学校試験場	1月26日(火) 郵送(速達)	6月20日(土)10:00~12:30 場所/金城学院中学校	11月7日(土)10:00~12:30 場所/金城学院中学校

お問い合わせ先:中学校事務室
TEL052-931-0821(代表)/受付時間9:00~17:00

幼稚園 2016年度募集

※詳しくは幼稚園ホームページをご覧ください。

幼稚園体験及び入園説明会

5月の連休明けから幼稚園体験・入園説明会の予約を受け付けています。(随時受付)
お問い合わせ先:幼稚園事務室
TEL052-798-0053(代表)/受付時間14:00~17:00

願書配付 9月1日(火)9:00~

願書配付は幼稚園体験・入園説明会に参加された方を対象にしています。ぜひ、幼稚園体験のご予約をください。

願書受付 10月1日(木)9:00~

入園希望者が募集人員を上回る場合は抽選になります。なお、入園希望者が募集人員に満たない場合は、募集期間を延長致します。

～金城学院目的指定寄付金～

この度は、金城学院へのご寄付、心より感謝申し上げます。今号では、2014年11月から2015年5月末日までにご寄付いただいた方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。

今、日本の教育現場そして金城の生徒・学生たちが卒業して活躍する社会環境は、日々変化しています。移り変わる時代に対応するために、金城学院では、諸設備及び教育

研究環境の充実を図り、教育効果の向上を期するための取り組みを行っております。

2012年度より10年かけて中高大の教育施設の大規模リニューアル(KMP21)を進めています。また、金城サポート奨学金をはじめとして14種もの独自奨学金制度を用意し、約1600人の学生・生徒が利用しています。内外の教育環境の充実を図り、学生・生徒たちが安心して学び、過ごせる学院づくりを

推進しています。

これらの取り組みを推進またはサポートするためには多大な経費が必要です。福音主義キリスト教に基づく女性教育、全人教育、国際理解の教育の想いを堅持してきた先人たちの想いを確実に次につなげるため、教職員一同より一層努めてまいりますので、今後とも温かいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

寄付金ご芳名録 (2014年11月～2015年5月末日までにいただいたご寄付をご報告させていただきます)

吉田 肇 豊田 江美 内藤 徹隆 浅野 康之 飯野 聖士 松田 優久 上野 久子 水野 守 小池 由香 町田 和雄 近藤 敦子 立木 辰夫 富田 大士 吉田 由喜 佐藤 由喜	岡田 肇 田江 美 野徹 隆 野康 之 野聖 士 野優 久 野久 子 野守 子 野由 香 野和 雄 野敦 子 野辰 夫 野大 士 野由 喜	及川 秀一 関林 喜博 宮之原 哲也 岩間 光枝 宮内 育子 今泉 貞彦 中村 敏治 長谷川 正洋 出嶋 亨 今枝 浩 中西 隆夫 鮎川 潤 小野 茂	加藤 一博 前鯉 也 稲家 枝 吉田 子 柳田 彦 杖士 治 土川 子 島野 一 竹野 浩 道小 夫 小野 茂	藤田 浩剛 江垣 幸哲 田幸 憲 田慶 憲 中敏 逸 山屋 宗 浦家 利 村雅 弘 井弘 志	明孝 浩 成雄 子 和子 和 江子 子 子愛 子 子德 子 子代 子 子志 子	種田 美佳 渡邊 喜代 水野 成規 関野 学 吉江 康 大橋 博 森勢 健 馬場 紀 関日 美 渡永 知 畔辺 久 横柳 喜 林地 子 穂穂 子 まどか	森部 浩昌 後藤 貴一 神大 島賢 宇佐見 元	押村 健一 大橋 生 伊藤 知香 藤村 照江 藤部 泰上	村上 好生 伊藤 秀夫 会田 慶高 清水 尚孝 長谷川 孝	植田 千春 日本キリスト教団 中京教会 (株)アドマテックス (敬称略 順不同)
---	--	---	---	--	--	--	----------------------------------	--	---	---

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
在校生ご父母	35	学生・生徒へ	182,500
一般有志	7	キャンパス環境整備へ	185,500
教職員(元)	20	文化事業へ	235,000
卒業生	28	国際交流へ	90,000
指定なし	8	地域との交流へ	0
学院全体へ			695,519
指定なし			1,823,500
総計	98	総計	3,212,019

～金城学院維持協力会～

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことに

よって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する

有力企業など法人会員78社、個人会員8名にご賛同いただき、ご入会いただいております。

金城学院中学校・高等学校

2015年度 中高合同体育祭

- 日時/9月25日(金) 8:50～(予定)
※入場にはチケットが必要です。
- 場所/愛知県体育館
- お問い合わせ/高等学校事務室
TEL. 052-931-6236

金城学院高等学校

「しらゆり祭」開催

- 『Now is the chance! ~そして、自分カラーに染めよう~』
- 日時/9月17日(木)オープニング(在校生のみ)
9月18日(金)一般公開日
9:15～14:30(予定)
※入場にはチケットが必要です。
- 場所/高等学校
- お問い合わせ/高等学校事務室
TEL. 052-931-6236

2015年度 PTA講演会

渡部陽一氏 「戦場の現場から祈りを捧ぐ」 ～命の大切さ お互いを愛し、敬いあうこと～

- 日時/7月16日(木)
11:00～12:30(10:30 開場)
※入場整理券が必要です。
- 場所/高等学校栄光館講堂
- お問い合わせ/高等学校事務室
TEL. 052-931-6236

金城学院中学校

「恵愛祭」開催

『For the Next Generation ~今、できることを~』

- 日時/9月18日(金)在校生のみ
9月19日(土)一般公開日
※入場にはチケットが必要です。
10:00～14:30
- 場所/中学校
- お問い合わせ/中学校事務室
TEL. 052-931-0821

2015年度 PTA講演会

佐藤陽子氏

『生と死の狭間で』

- 日時/10月8日(木) 13:00～14:30(予定)
- 場所/中学校講堂
- お問い合わせ/中学校事務室
TEL. 052-931-0821

金城学院幼稚園

父母の会バザー

父母の会の手作り・献品コーナー、卒園生・在園児によるお店屋さんなどがあります。

- 日時/10月31日(土) 10:00～14:00
※雨天決行。警報発令時は11月3日(火)に変更となります。
- 場所/幼稚園
- お問い合わせ/幼稚園事務室
TEL. 052-798-0053

Kinjo Gakuin Information

金城学院インフォメーション

金城学院

第64回メサイア演奏会

- 日時/11月21日(土) 16:30～
- 場所/愛知県芸術劇場コンサートホール
- 入場券/自由席 1,500円
- お問い合わせ/中学校事務室
TEL. 052-931-0821

金城学院大学

『OPEN CAMPUS 2015』

きっと、あなたを夢中にさせる。

- 日時/7月12日(日) 9:30～15:30
8月 8日(土) 9:30～15:30
10月24日(土) 10:00～15:00
※10月24日(土)は金城祭同時開催。
※イベント内容についてはHPをご覧ください。
- お問い合わせ/大学入試広報部
TEL.0120-331791(入試相談フリーダイヤル)
http://www.kinjo-gakuin.net (PC用)
http://www.kinjo-u.ac.jp/m (携帯用)

第52回技能五輪全国大会で 卒業生の河本さんが金賞受賞!

次世代のものづくりを担う青年技能者の「技」の日本一を競い合う大会として、昨年11月28日～12月1日に開催された「第52回技能五輪全国大会」のレストランサービス部門で、金城学院大学卒業生の河本裕香さんが金



「技能五輪全国大会」の様子

賞を受賞し、厚生労働大臣賞を受賞しました。

河本さんは日本語日本文化学科を卒業後、株式会社ナゴヤキャスルに就職。

現在はウェスティンナゴヤキャスルの料飲部料飲課に所属し、日々頑張っています。今回の大会では、テーブルセッティングやイギリス式のオードブルのサービス、チェリー・ジュビルのフランパージュ、2名のディナーセッティング、食前酒の作成およびバーサービス、ワインのデカンタージュ、チキンのデクパージュの7つの技能課題にチャレンジ。すべてにおいて優秀な成績をおさめられ、見事金賞に輝きました。

この大会のために、半年前から週に一度の練習を重ねてきたという河本さん。「通常業務との兼ね合いが難しい日もありましたが、まわりの方ご



支援のおかげで金賞をいただくことができました」と話します。また「これからもナゴヤキャスルの伝統あるサービスを受け継いでいきたい」と、今回の受賞により意気込みも新たに仕事に取り組む姿勢です。河本さんの今後の華々しい活躍を期待しています。

2015年度 聖句 標語

『しかし、神が据えられた
堅固な基礎は揺るぎません。』

テモテへの手紙二 第2章19節

今年2015年は、金城学院の校歌が制定されてからちょうど100年になります。「いしずえをば いわおなる／^{きみ}聖主にすえし 金城の」。金城学院の基礎である大きな岩は何か、それは主イエスである——そう歌い始める校歌は、現役生にとっては馴染み深い、そして卒業生にとっては懐かしく思い起こされるものではないでしょうか。

主イエスは十字架の死と復活の出来事を通して、悪には愛と赦しをもって臨み、そして死に対しては新しい命をもって打ち勝たれました。私たちは個々の人生において、またある時には時代に翻弄されて困難に直面することがあります。しかしその時にこそ、この学び舎で学び・学んだ全てと、主イエスのご生涯が証しされた聖書の言葉を改めて思い起こしたいのです。そこに、あなたが今とこれから、そして死に際しても、揺るがされない「^{いしずえ}礎」となるものがあるでしょう。

落合 建仁 (文学部宗教主事)

本誌「with Dignity」は、金城学院のホームページ
(<http://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。
ご意見、ご感想をお寄せください。

(また、現在お送りしております方で、住所変更や購読中止を希望される方も
ホームページからご連絡ください。)

みどり野会 (同窓会) より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です
『みどり野会』という名称は
大正9年(1920年)旧約聖書詩篇第23篇から
名付けられました

「主はわが^{ぼくしや}牧者なり われ^{ども}乏しきことあらじ
主は我をみどりの野にふさせ いこいの^{みどりの}水濱にともなひたまふ」

神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後母校に集まり いこいの時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあります

みどり野会からのお知らせ

召天者記念礼拝および恩師を偲ぶ会

■日 時／2015年10月10日(土)
10:00～12:00

■場 所／エラ・ヒューストン記念礼拝堂

■礼 拝／金城学院宗教総主事 小室尚子先生

2014年7月～2015年6月までになくなられた恩師と卒業生のための追悼礼拝です。どなたでもご参加いただけます。

クリスマス讃美礼拝

■日 時／2015年12月12日(土)
10:30～(予定)

■場 所／中学校白百合館礼拝堂

クリスマス讃美礼拝とイベントを予定しています。

※白百合館へのご来場には「公共交通機関」をご利用ください。

<お問合せはみどり野会事務局まで>

本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)

分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)

H P <http://www.kinjo-midorino.com>

※活動情報は会報「みどり野」をご覧ください